

河川で見る生き物たち

市街地の生きもの 広瀬重夫

住吉川中流域の植生風景(1)



■住吉川中流域の風景

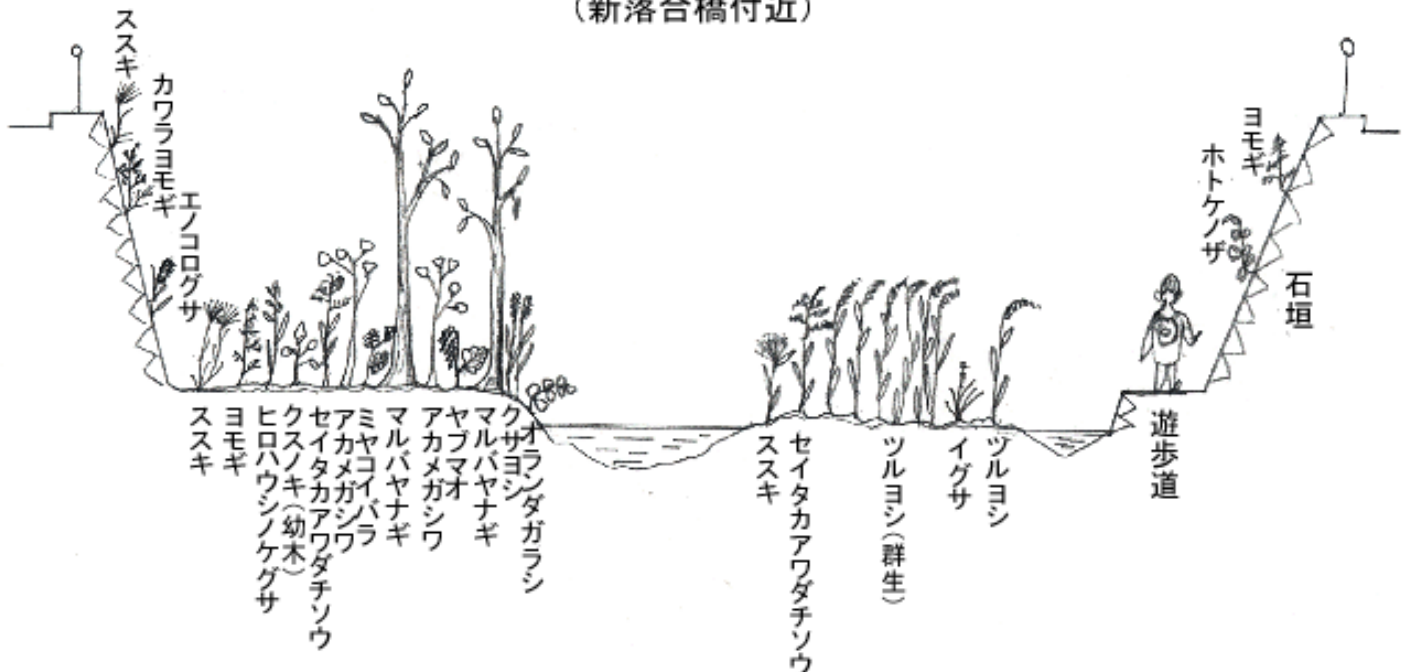
観音橋より上流側を見たもの(写真527)。少しずつ段差をおいて流れをゆるめると平坦部に土砂が堆積して植物がはびこり、流れは柔らぎ、水に含まれた有機物の分解が促され、窒素(チッソ、N)やリン(リン、P)が植物に利用されます。それによって海水の酸欠の原因となるプランクトンの異常発生が抑えられます。

川の流れの植物は陸上の汚れた水をきれいにするフィルターとしての大切なはたらきをします。



写真527、住吉川中流域の風景
8月、住吉川

中流域の植生 (新落合橋付近)



■環境別にみる植生

(1)	水ぎわ	オランダガラシ 、 タテバチドメグサ 、 ミゾソバ 、ヤナギタデ、 オオカワジシャ 、コブナグサ、 キシウズメノヒエ 、 ガマ 、 キシウブ
(2)	水ぎわから少し離れて	シマスズメノヒエ、 イヌビエ 、 ジュズダマ 、シュロガヤツリ、イグサ、 ツユクサ 、 アメリカセンダングサ 、ホウキギク、 イヌキクイモ 、マルバヤナギ、(高木)、 アキニレ (低木)など
(3)	少し乾燥したところ	ヨモギ 、 セイタカアワダチソウ 、ヤブマオ、ヒロハウシノケグサ、カゼクサ、ミヤコイバラ、(小低木)、 アカメガシワ (低木)など
(4)	つる植物	以上の草木にからみついたり、それらを覆ったりする植物 カナムグラ 、 クズ 、ツルマメ、 センニンソウ 、 ネナシカズラ 、 ノブドウ 、 ヘクソカズラ 、 スイカズラ 、 アオツヅラフジ 他物に寄りかかるママコノシリヌグイ、 イシミカワ など
(5)	河川敷	住吉川では河川敷(かせんしき)にあたる部分は遊歩道になっているが、新落合橋の上手(かみて)で砂防ダムの手(しも)て)では広くて平坦な河川敷がある。人が通るので、踏みつけにも乾燥にも耐えられる草たちが生える。しかし、度が過ぎると何も生えなくなって裸地(らち)となる。 主なものは、ネズミノオ、カゼクサ、ギョウギシバ、オヒシバ、 クサイ 、 コニシキソウ 、 オオバコ 、 カタバミ など たまに踏まれるようなところは、メヒシバ、 エノコログサ 、 ヨモギ 、 スギナ など
(6)	川岸(石垣など)	ススキ 、メリケンカルカヤ、 ヨモギ 、カワラヨモギ、 セイタカアワダチソウ 、 ホトケノザ 、メドハギ、ギンゴケ 低木では、ウツギ、 エノキ 、 アカメガシワ 、ときには クロマツ も

[このページのPDFファイル](#)



トップページへもどる